

学力向上に向けた取組

函館市立亀尾中学校

1 課題

読む・書くを中心とした基礎的・基本的な知識や技能の定着
授業力アップを目指した指導体制の工夫・改善

2 課題解決の具体策

徹底した個に対する学習支援と補充・発展的学習体制づくり
全員による授業研究の実施と積極的なTTの導入

3 取組の概要

< に対して >

- ・朝読書や朝学習を生徒会活動と連携させ、自主的計画的な学習の取り組みを継続させる。
- ・生徒の自主的な「放課後・長期休業中」における補充・発展的な学習や個別指導の充実に努める。
- ・各種検定（英検等）への積極的な取り組みによって、学習意欲の向上を図る。

「長期休業中の学習」



< に対して >

- ・数学と英語の授業におけるTTを積極的に導入し、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- ・「考えをわかりやすく伝える力の育成」～読む・書くを通して向上する表現力を求めて～という研究テーマで、全員による授業研究を実施し、校内研修の深化に努める。
- ・小学校の外国語活動や音楽など、小中の連携した指導体制の工夫を図る。
- ・特別支援を要する子に対しては、特別支援サポート委員や関係機関（市教委・南セ）と連携しながら対応し、さらには日常の職員間の適切な情報交流の推進に努め、保護者との信頼関係の構築に力を入れる。

「公開授業研究」



4 成果と課題

全国学習状況調査の結果からも個々の学力の向上が認められた。長期休業中や放課後学習への参加人数が増え・意欲も向上してきた。英語検定は全校生徒の70%が受検し、希望の級に合格した。特別支援を要する子も着実な成長が見られた。

家庭生活のリズムの改善や家庭学習の習慣化が不十分である。小中の連携はあるものの、更に一貫した取り組みが大切である。学力の個人差が大きく、さらに個に応じた学習支援計画が必要である